

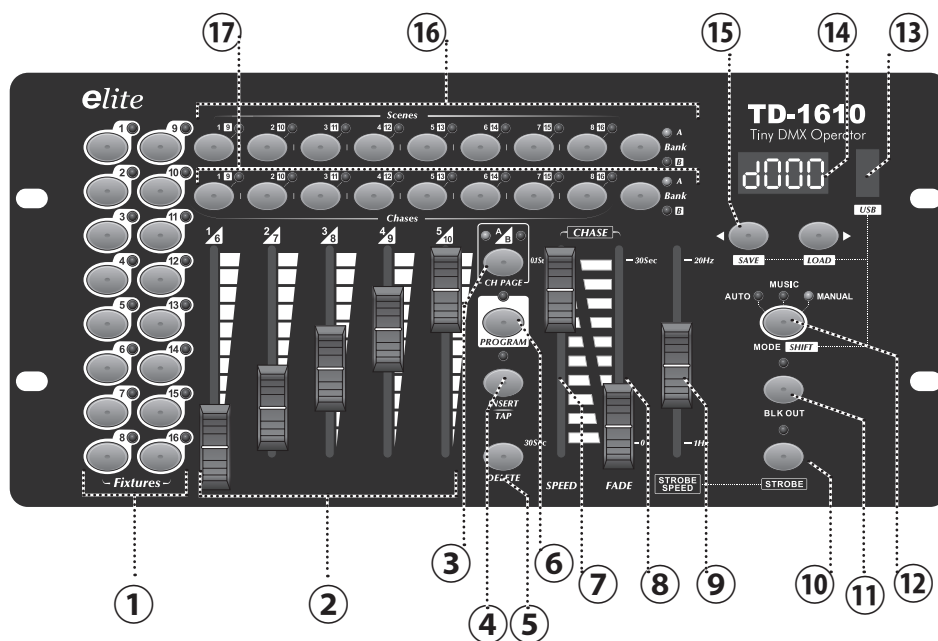
elite DMXオペレーター

▶ 製品の特徴

TD-1610

この度はelite 製照明機器「TD 1610」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

イーライト「TD 1610」は、最大16台の灯体(各10chまで)をコントロールすることができる小型のDMX照明コントローラーです。5本のフェーダーをABページ切替えすることで10chを操作できる他、11ch以上の灯体をコントロールすることもできます。16シーンの保存と200ステップのチェース16個を本体とUSBメモリに保存することができます。組んだチェースは再生スピードとフェードタイムをフェーダーで調整することができます。また音調同期やブラックアウト、強力なストロボ機能などを搭載。シンプルな操作性でカラオケやライブハウスや演劇の舞台演出に最適な1台です。



- | | | | | | |
|---|------------------|----|-------------|----|---------------------|
| 1 | フィクスチャー選択 | 7 | チェーススピード | 13 | USB インターフェース |
| 2 | チャンネルフェーダー | 8 | チェースフェード | 14 | 7 セグディスプレイ |
| 3 | チャンネルページ A/B 切替え | 9 | ストロボスピード | 15 | セレクト /SAVE-LOAD ボタン |
| 4 | インサート / タップ | 10 | ストロボボタン | 16 | シーンバンク |
| 5 | デリート | 11 | ブラックアウト | 17 | チェースバンク |
| 6 | プログラム | 12 | モード / シフトキー | | |

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限会社が制作しています。

発売元：IDE コーポレーション有限会社

〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24

IDE コーポレーション有限会社

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発生する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

レーザー



レーザーを使用する場合は
レーザー光を直接見ない。
失明等の原因となる場合があります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。



スモークマシンなど湿気の多い場所での頻繁な使用は避ける。
反射ミラーの劣化など、故障の原因になります。

使用時の注意



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があります。



この機器のパネルのすきまに手や指を入れない。
けがや傷害につながるおそれがあります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れない。
感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。
異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



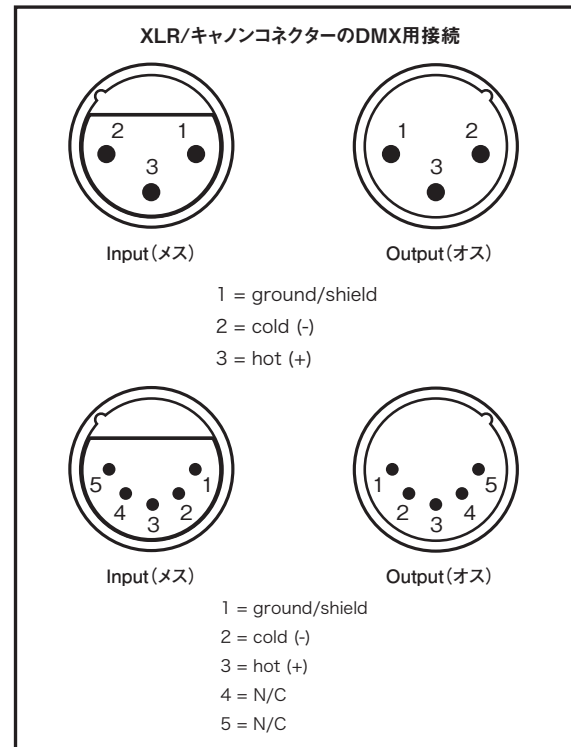
この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器の破損や傷害の原因となります。

- ※ケーブル接続の際は電源を切った状態で接続してください
- ※不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。
- ※使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。
- ※電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常ではありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、ご注意ください。
- ※この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部ことなる場合があります。
- ※この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。
- ※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

端子一覧

正しい端子・ケーブルをご使用ください。

端子名	極性	タイプ
INPUT, OUTPUT	ピン1: グラウンド (GND) ピン2: コールド (-) ピン3: ホット (+)	XLR



ファンクション

モード

動作モードには【AUTO】【MUSIC】【MANUAL】の三つのモードが備わっており、【MODE/SHIFT】ボタンで選択できます。
【MANUAL】モードでは、選択したフィクスチャーをフェーダーでコントロールします。手動でのコントロールに加えシーンの作成やチェースの作成などを行います

【MUSIC】モードでは選択したチェースを内蔵マイクで音調同期します。マイク入力感度は◀▶セレクトボタンで【N000(低感度)】～【N100(高感度)】で設定します。

【AUTO】モードでは、選択したチェースの再生を行います。

フィクスチャーの選択

1. 【MODE】ボタンから【MANUAL】モードを選択します
2. 【FIXTURES】から操作したいフィクスチャーを選択します

※ FIXTURE1 を選択した場合は、フェーダー 1-10 が操作可能。
10ch 以上ある灯体を操作する場合は、FIXTURE2 のフェーダーが 11ch からとなっています。

シーンの設定

1. 【MODE】ボタンから【MANUAL】モードを選択します
2. 【PROGRAM】ボタンを長押しして、ランプを点灯させてください
3. チャンネルフェーダーでシーンを作成します
4. 【PROGRAM】ボタンを押し、任意のシーンボタンを押してシーンボタンに保存するとシーンの設定は完了です。

6. 【PROGRAM】ボタン長押しで、シーン設定モードからマニュアルモードに戻ります

シーンの再生

シーンを呼び出す際は、シーンを設定したシーンボタンを押してください。複数のシーンを選択すると重ねて出力することができます。

チェースの設定

1. 【MODE】 ボタンから【MANUAL】モードへ入ります。
2. 【PROGRAM】 ボタンを長押しして、ランプを点灯させ、任意のチェースボタンを押します。
3. ステップに保存したいシーンが完成したら、【PROGRAM】 ボタンを押します。これでステップ1は完成です。
4. ステップ2以降は「3.」の操作を繰り返してステップを作成して行きます。
5. 【PROGRAM】 ボタンを長押しして、チェース設定モードからマニュアルモードに戻ります

チェースの再生

チェースを再生するには、【MODE】を【AUTO】にして、保存したチェースボタンを押す事でチェースが走ります。その際に【CHASE SPEED】【CHASE FADE】のフェーダーが有効になります。

ストロボモードの設定

1. 【MODE】 ボタンより【MANUAL】を選択します
2. 【PROGRAM】 ボタンを長押しし、ランプを点灯させます。
3. 「STROBE」 ボタンを押してランプを点灯させます。
4. ストロボ制御したい灯体を「FIXTURE」ボタンで指定する。
5. ディスプレイ上で、ストロボ制御したい1~10ch フェーダーを◀・▶ボタンで選択し【PROGRAM】 ボタンを押して「YES」にする。例:「01.yes」
ストロボ制御したくないch フェーダーは◀・▶ボタンで選択して、【DELETE】 ボタンを押して「No」にします。
6. 【PROGRAM】 ボタン長押しで、ランプを消してストロボモード設定を解除します。
7. ストロボを呼び出す際は、【STROBE】 ボタンを押してストロボ操作ができます。

USB にデータを保存する

1. 「SHIFT」 ボタンと [◀ SAVE] ボタンを同時に押します。
2. 「FIXTURES」 ボタンでバックアップするデータの番号 1-16 を指定します。
3. ディスプレイに【OK】と表示されてバックアップ完了です。

工場出荷時設定に戻す(全てリセット)

1. 電源を OFF にします
2. 【PROGRAM】【MODE/SHIFT】【DELETE】 ボタンを押しながら電源スイッチを ON にします
3. ディスプレイに [rESt] → [OK] と表示されたらボタンを離します
4. 全てのデータがクリアされ工場出荷時の設定に戻ります

チェースステップの挿入

1. 【MODE】 ボタンから【MANUAL】モードへ入ります。
2. 【PROGRAM】 ボタンを長押しして、ランプを点灯させ、任意のフィクスチャーとチェースを選択します。
3. 【INSERT/TAP】 を3秒長押ししランプを点灯させます。
4. フェーダーでシーンを作成します
5. ◀▶セレクトボタンでシーン挿入したいステップ番号を選択し、【PROGRAM】を押します
6. 【PROGRAM】 を長押しして編集モードを出ます。

チェースステップの削除

1. 【MODE】 ボタンから【MANUAL】モードへ入ります。
2. 【PROGRAM】 ボタンを長押しして、ランプを点灯させ、任意のフィクスチャーとチェースを選択します。
3. ◀▶セレクトボタンで削除したいシーン番号を選択します
4. 【DELETE】 ボタンを押すとシーンが削除されます
5. 【PROGRAM】 を長押しして編集モードを出ます。

ストロボの操作

【STROBE】 ボタンを押すと設定したチャンネルのストロボが出力されます。
【STROBE】 ボタンを押したまま、「STROBE SPEED」フェーダーを操作する事でストロボの速さの設定が可能です。
【STROBE】 ボタンを押すと、設定した速さでストロボが出力されます。

ブラックアウト

1. 【BLK OUT】 ボタンを押してランプを点灯させると全ての灯体がブラックアウトします。もう一度【BLK OUT】 ボタンを押すとランプが消えブラックアウトが解除されます

USB からデータをロードする

1. USB ポートへデータを保存しているデバイスを接続して、「SHIFT」 ボタンと「LOAD ▶」 ボタンを同時に押します。
2. 呼び出したいファイルデータ 1-16 を指定します。「FIXTURES」 ボタンでデータの指定をします。
3. ディスプレイに【OK】と表示されて、データの呼び出しは完了です。

▶ スペック

電源：DC9V 300mA min USB：USB-A
DMX 出力：XLR 3pin オス 寸法：308x142x74 mm
オーディオ入力：内蔵マイク 重量：1.2kg